



**ヒント** 課題を多面的に捉えるためには、いくつかの方法が考えられます。例えば、課題（テーマ）を中心に、そこから連想されることを放射状に書き出す方法や、集めた情報を分類し、整理する方法があります。



## 多面的に捉える

課題を設定して話をするとき、課題に関して多面的に捉えることが大切です。また、場や目的に応じて、視覚的な資料や機器を用いることで、効果的に伝えることができます。

話題

構成・考えの形成

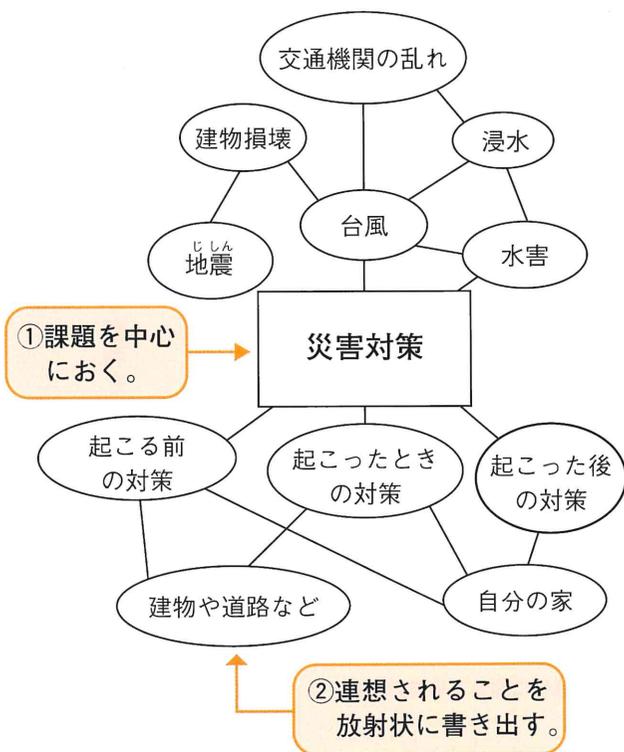
表現・共有

# 課題を設定して伝える

### 目標

- 情報の関係を踏まえ、**根拠**の適切さや論の展開に注意して話を構成する。
- 資料や機器などを用いて自分の考えをわかりやすく伝える。

■ 多面的に捉える方法  
発表「わが家の災害対策」





# 学習活動の流れ

## 話題

1

- ① 社会生活の中からテーマを選ぶ。
- ② 選んだテーマについて、自分自身で考えたり調べたりしながら、多面的に情報を集め、発表する内容を検討する。

## 構成・考えの形成

2

- ① 事実と意見、意見と根拠の関係が適切かどうかに注意し、話す順序を検討する。
- ② 視覚資料の準備をする。  
・プレゼンテーションソフトや、図表や写真・絵などをを用いる。

## 表現・共有

3

- ① 発表し合う。
- ② 事実と意見、意見と根拠の関係が適切だったか、視覚資料によってわかりやすくなっていたかなどを振り返る。



## 情報を整理して伝えるポイント

項目を立てて情報を整理する

わかりやすく伝えるために、情報を項目にそって分類しよう。



### 台風への対策

項目(時間) / 項目(対象)	事前	最中	事後
建物			
生活			
情報・連絡			

縦と横の項目を関係づけて考える。  
例 建物に関する事前の対策

### プレゼンテーションの仕方

- ・一つのスライドに、伝えたいことを一つ盛り込む。
- ・スライドは一目見て内容がわかるように言葉を選べる。
- ・話す内容とスライドの内容を一致させる。
- ・話全体の展開や前後の関係などがわかるように話す。



言葉・情報

……について三つのことを述べます。一つめは……。 (順序)



学びを生かす

主張大会や演説などをするときに役立てよう。

### わが家の災害対策

2年A組 ナツ

はじめに(発表の内容)

- 台風被害の実態
  - 建物
  - 生活
  - 情報・連絡
- 実態を踏まえての対応策
  - 建物
  - 生活
  - 情報・連絡
  - 日頃の準備
  - 台風が来たとき
  - 被害を受けたとき
- まとめ (中略)

1. 台風被害の実態

情報・連絡 災害時に評価の高いICT・メディア

順位	速さ	正確さ	情報量	地域情報
1	緊急連絡メール	避難所等への案内	災害FM	避難所等への案内
2	災害FM	行政機関ホームページ	検索サイト	災害FM
3	ワンセグ放送	災害FM	地上波放送	近隣住民の口コミ

Web「総研研」 <https://00/00/00.html> 2020年0月0日取得を参照して作成 (中略)

2. 実態を踏まえての対応策

(1) 日頃の準備

情報・連絡

さまざまな目的・状況別の連絡手段を複数把握する。

例)

災害食が欲しい

ネットワーク回線はあるか

ある ない

国や自治体のSNS等 避難所や役所の掲示板

### わが家の災害対策

これから「わが家の災害対策」の発表をします。

はじめに発表の内容を述べます。今日は台風について三つのことを話したいと思います。一つめは、台風の被害がどのようなものかということです。建物への影響、生活への影響、情報・連絡手段への影響という点から事例などを紹介します。二つめは……。 (中略)

次に情報・連絡に関する実態です。表は災害時に用いた手段に関する調査のまとめで……。 (中略) 最後に、日頃の対策として、情報・連絡面でどのようなことが必要かについて述べます。 (以下略)

#### 振り返り

- 意見と根拠の関係に気をつけるなど、構成を工夫して、わかりやすく話しているか。
- 資料や機器を活用して、自分の考えを伝えているか。

一目見てわかるように言葉を選んでいる。

スライドと発表内容が一致している。

- ・事実(調べたこと)と自分の意見を分け、かつ両者が関連している。
- ・何について話すかや、前後のつながりがわかるように話している。

